

文化のまちの よるのすがた

Another Aspect of Ueno at Night.

上野PJが現在注目しているテーマの一つが「夜のまち」だ。今月号では、東京文化資源会議のシンポジウムの様子と研究室メンバーが見た上野の夜のすがたをレポートする。



灯りが連なる上野仲町通りを歩く

第二次上野スクエア構想を聴いて

To Hear the Presentation at the Symposium "Cultivating Ueno Square."

text_MAEYAMA /M1

10月1日に開催された東京文化資源会議第8回公開シンポジウム「開かれた文化資源区—上野スクエアを構想する」。会長の伊藤滋先生の主旨説明に始まり、2016年に公表された第一次構想の振り返りおよび第二次構想の発表が行われた。

第二次構想では、第一次構想において中心と位置付けられた不忍池での詳細なアクティビティ調査や回遊性が求められる湯島～御徒町～末広町エリアの

通りについての踏査による分析が織り込まれ、それに基づく提案が示されており実践に向け動いていく段階に入っていることが感じ取れた。

後半に行われたパネルディスカッションでは今後の切り口についての議論から「上野スクエア」という名前の是非に至るまで様々な意見が述べられ、「文化のまち上野」の展望を皆が考える密度の高いシンポジウムとなった。



▲永野先生によるプレゼンテーション

夜の上野を徘徊する

We Wandered the Streets of Ueno at Night.

キャンパスのすぐ近くとはいえ、なかなか訪れることの無かった上野の歓楽街。今回、上野PJメンバーであり「夜」部門の調査を主に担当しているM2松本さんとM1山口さんに案内してもらい夜の

上野を歩いてきた。



▲上野中央通りから仲町通りに入る

通りに入ると間口の狭いビルが並び、バーやキャバクラといった所謂「夜のお店」が連なる。しかしイメージに反して、若い女性でも入りやすいような飲食店も目立った。案内してくれた二人の話だと、風俗店の出店を規制した結果そのような店が増えた一方、空床も増えているそうだ。

仲町通りを折れて路地に入る。そこではより高い密度でよりディープな店が並び、たまに現れる古めかしい建物や小さな店舗が集まった独特の形態のビル、焼き肉店が多い不思議は、この町に「夜の町」としての歴史やルールが存在することを窺わせる。

奥に行くほど雰囲気を増す路地を抜け大通りに出ると、その景色の違いに驚いた。広くきれいな通りに先程の怪しさはない。百貨店の再開発によって出来た高層ビルを眺めながら、この町はいつまでこの姿を保つのだろうか少し考えてしまった。



▲広小路に出て御徒町方面を望む

夜の天神下

(寄稿・撮影) 都市デザイン研究室M2 松本春菜

路端に佇み客を引く、お水の姐さんの凄味と艶っぽさは、元より今の私がつもものではないが、彼女ら独特の、あのすれっかしの気風は、どこか私の体内をも吹き貫けるような。水商売の世界に触れながらも玄人にはなり切れず、さりともはやただの素人でもないような、私の盛り場心象地図。



カウンター越しに、常連客とのやりとりを。そのうち君も一杯どうだときて、いただきますと差し出すグラスが首をたててかちり：東京は東の場末の町で、かつては毎夜の如く繰り返したお酒の席も、最近はずつかり、足を洗ったつもりで顔を出さぬ：ここは不忍池にのぞむ天神下。日も暮れてネオンが輝き出す頃になると、ふらふらと酔客が街路にあふれて、待ってましたとばかりに客引きが、左右の店先から声をかける。

かつての花街の、芸妓が待る、といっても二流三流どころがせいぜいの、客足ばかりやけに豊富な夜の歓楽郷。花街がホステス街に変わろうが、中身はやっぱりおんなで、いつの時代も女の色気と男のスケベ心の生み出せる、芸と色の化かし合い。表通りの喧騒も、路地に入るとしつとりと、おぼけも歩く横丁に、優しく見守る月影がある。

「こんばんは。」
「しらっしやませ。あら、〇〇さん。今日は随分とお早いですね。」
「仕事が早く上がったもんだから、久しぶりにここで始めの一杯をやりたくてよ。」
「どうもお疲れ様です。実は、いつお見えになるのか、毎週楽しみにしているんですよ……」



心新たに秋学期！新メンバー自己紹介

text_TAJIMA/M2

New Semester Begins, Newcomers have come!

長く充実した夏休みも終わり、10月から秋学期が始まりました。10月2日には初回の研究会議が開かれ、修士研究の追い込み時期に差し掛かったM2が発表を行いました。

また、この秋から都市デザイン研究室に新たに加入したメンバーの歓迎会も開かれました。新しく加

わったのは中国からの留学生危さんと繆さん、建築学科から修士課程へ加わった松本くん、そしてまちづくり大学院から博士課程へ進学された玄田さんの4名です。

今回はそんな4人の自己紹介と抱負を寄稿してもらいました。



Master Course
Matsumoto Daichi
松本 大知
兵庫県神戸市出身
甲陽学院高等学校→東京大学工学部建築学科

はじめまして。この10月から都市デザイン研究室に入りました、松本大知と申します。昨年まで東大の建築学科に所属していました。趣味はテニス、街ぶら、外で遊ぶことでどちらかというとアウトドア派です。学部時代の勉強や研究を通じて、街づくりや都市における公共空間について関心を持つようになり、より大きなスケールで建築や都市、そして社会を見て、考えたいと思い、都市デザイン研究室に入りたいと思いました。研究室ではいろいろな先生や先輩方が蓄積してきた知識や経験があると思います。大学院では授業やプロジェクトを通じて、都市について、社会についての知識や経験を学ぶ二年間にしたいです。これからよろしくお願いたします。

修士課程(まち大)に続いてデザ研の一員となることができ嬉しく思います。修士論文では、国家や地域の社会構造変革に対する都市空間の働きを捉えるため、当時赴任していたタイ・バンコクのラーマ6世治世期(1910-1925年)に行われた近代化に関する実験的事業を分析しました。博士研究では、同じく都市空間の働きに焦点を当て、日本の近代について他国と比較しつ

調査し、研究を通して都市空間と社会や文化との関係の一面を探っていければと考えています。

なお、日本と海外との文化交流に関係する今の仕事の経験も何らかの形で活かして研究できればと思っていますが、研究以外の様々な研究室活動にも関わらせていただけたら幸いです。



Doctor Course
Genda Yuta
玄田 悠大
兵庫県神戸市出身
京都大学工学部地球工学科
→京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻→東京大学大学院工学系研究科都市持続再生学コース

ルで建築や都市、そして社会を見て、考えたいと思い、都市デザイン研究室に入りたいと思いました。研究室ではいろいろな先生や先輩方が蓄積してきた知識や経験があると思います。大学院では授業やプロジェクトを通じて、都市について、社会についての知識や経験を学ぶ二年間にしたいです。これからよろしくお願いたします。



Research Student
Wei Zhaoting
危 昭婷
Birthplace:
Foshan, Guangdong Province, China
Graduation School:
South China University of Technology
KTH Royal Institute of Technology

I am an exchange student from China studying in Sweden. Although I really enjoyed the totally different Nordic academic atmosphere in Stockholm, I still tried to fight for a chance to study in the most advanced university in Asia. Therefore, It applied for the exchange opportunity to UTokyo and I am enjoying the study life here. For me, Tokyo is always a magical city, the largest megacity in the world but with well-organized urban structure, a high density zone but with orderly and different urban functions, a historical and modern city with numerous outstanding architectures and urban designs. All these aspects are the reasons why I am deeply attracted by Tokyo.

During my undergraduate study life, my background was urban

planning and design, and I also have 3-year experience of architectural design. In terms of the academic life in KTH, after a period focused on urban design, I tried to develop myself in different tracks, so I chose theoretical track in period 2, to study city networks and environmental issues in order to broaden my knowledge. Born in Foshan and studied for 5 years in Guangzhou, I am heavily attached to southern China. Therefore, focusing on my background and research direction in the future, urban design, especially urban renewal and reconstruction will be my significant ambitions. I believe, UTokyo is the best place for me to gain deeper and wider understandings on Asian urban development and design.

I choose traveling and photographing to mark the impressions in my life, so that I will see the happiness and be grateful to every day that past. Playing saxophone and singing are my weapons against bad moods. In order to pursue more professional knowledge and do some research on the urban we live in, I come to U-Tokyo's Urban Design

Lab, which is just like a warm family. While now, improving my Japanese and reading more books are my recent goals. Also, I enjoy the culture here and try to build a bridge between Chinese culture and Japanese culture in my own way.



Research Student
Miao Siran
繆 思然
Birthplace:
Kunming, China
Graduation School:
Tongji University

Information



Hey listen, -ちょっと聞いて!

10.13 浪江町の運動会へ



町なかでの調査の後になみえ創成小中学校の運動会を見学しました。子どもたちに加えまちの人々やボランティアの学生などが参加してとても賑やかでした。(M1 前山)

10.23 今年は高蔵寺!



UDC コンベの現地説明会に参加するため、愛知県の高蔵寺に足を運びました。説明会后、起伏のある地形を歩き回りながら、対象地を色々な角度から眺めました。(M1 藤原)

10月 東京の既成市街地のリ・デザイン



今学期の大学院演習では、三つのスタジオが講師。テーマは「Inner City」・「Shaping Agri-Ecodistricts」・「Suburban Public Housing」。三つの異なるフィールドで既成市街地の新たな展開を考える。(M1 松本)

10.27 富士吉田 PJ



今回は初めての試みとして、勉強会の後に懇親会を行いました。どうすればより多くの方が来るのかなど、フランクに話せる貴重な場となりました。(M1 前川)

大きなイベントが多くあった10月。そして集大成を飾ったM2はプロジェクトを引退、いよいよM1が中心となっていきます。

10月のWebマガジン

<http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/ja/blog/>



10.14「内子のミライ」を描く

まちの担い手を招き、内子の将来について考えるシンポジウムを開催。盛り上がった議論は夜まで続く。(M2 但馬)



10.20-21 Survey in Tomo

研究室で車の浦での空き家調査を行った様子をまとめたエッセイ。後半は海外の街との比較も。(RS Wei)

11月の予定 Lab. Meeting

	Lab. Meeting 9th, 14th, 26th
01st (Thu.)	高島平 50周年記念企画キックオフ MTG
07th (Wed.)	上野プロジェクト展示
10th-11st	手賀沼 PJ「ヌマベ・ザシキ」
16th-18th	都市計画学会全国大会@大阪
16th-21st	研究室旅行@長春

✳ 編集後記

上野 PJ は中島先生と永野先生という弊研究室の先生二人ともが関わる唯一の PJ だ。研究室の同期で参加しているのは4名。これは研究室同期と PJ が全く被っていない私にとってかなり羨ましいことだ。別に自分の参加している PJ に不満がある訳ではなく、ただのいなものねだりなのだが、彼らが研究室でわいわいと会議をしたり一緒にイベントなどの準備をしたりするのを見るとどうしても羨ましくなってしまう。同期へのこだわりって不思議だ。一緒に PJ やってみたいかな。(M1 前山)